

ポット植え方式による  
AlaNuevo

グラウンド芝生化プロジェクト

白馬村の校庭・グラウンドを芝生にしよう！

2009.01

# 目 的

- ・ 地域の青少年、成年の集まる場としてのグラウンド、スポーツコミュニティの中心としての場のステップアップ(土のグラウンドから芝のグラウンドへ)、“ポット苗方式芝生化”を地域住民や、下部組織構成員、その保護者のボランティア協働作業を行うことで、年齢を超えた地域結束を強め、協力する心を育てる。
- ・ 地域住民の協働作業でのグラウンド作り、グラウンド整備を第1段階として、グラウンドを地域に開放することを目的とする。グラウンドの利用については、基本的に一定の制限内(1日の利用時間、人数の制限)で自由とし、いつでも、だれでも使えるグラウンドを実現し、近隣地域宿泊施設、スポーツクラブ等への貸し出しを通じ、合宿、大会の誘致等、地域活性化を目指す。
- ・
- ・ 長野県下初のティフトン芝による低コスト芝生化事業(2009新田楠川AlaNuevoグラウンド)を皮切りに、白馬村全域(村営グラウンド、園庭、校庭、その他)の芝生化を目指す。

# プロジェクトの目指すもの

- ・ 地域住民の協働作業でのグラウンド作り、グラウンド整備を第1段階として、グラウンドを地域に開放することを目的とする。グラウンドの利用については、基本的に一定の制限内(1日の利用時間、人数の制限)で自由とし、いつでも、だれでも使える“おらほのグラウンド”AlaNuevoを実現する。
- ・ 白馬村全域にティフトン芝を広めることの出来るように、ポット苗づくりからオーバーシードまで。また、施設(スプリンクラー等)工事の確立を目指す。

## 具体的な開放案

- ・ 地域主催の、地域活性化をめざすサッカー大会の開催
- ・ グラウンドの下部組織のサッカー練習や、地域住民への開放
- ・ その他、開いている時間帯の個人利用の自由化

# 2009プロジェクト概要

新田楠川AlaNuevoグラウンド

- ・ 5月 JFA(日本サッカー協会)よりティフトン芝の苗支給
- ・ ボランティアによるポット苗作り
- ・ スプリンクラー埋設工事
- ・ グラウンド下地整備
- ・
- ・ 6月 ボランティア200名(予定)での、50cm間隔でのティフトン芝の植え付け
- ・ スコップ、つるはしによる植え付け用穴掘り
- ・
- ・ 7月 ボランティアによる散水・施肥
- ・ 芝刈り(1回 / 1週間)10月まで継続
- ・
- ・ 9月 冬芝のオーバーシード (機械撒き)
- ・
- ・ 10月～11月 芝刈り(1回 / 2週間)12月まで継続
- ・
- ・ 2010年 5月中旬より本格運用

# グラウンド芝生化のメリット

- 地域住民の一体化、及び活性化
  - － 地域の人々のボランティア作業によるグラウンド造りでの人々の一体化及び、意識の共有化
- ・ サッカーテクニクの向上
- ・ 身体的安全性の確保
- ・ 基礎体力の向上
- ・ ヒートアイランド効果の抑制
- ・ 土埃の防止

# 苗植えについて

- ・ 50cm間隔毎に、苗を少年サッカーチームメンバー、保護者、地域住民約200名による共同作業で移植する。
  - すべての作業を協働作業とすることで、地域住民の地域住民や、下部組織構成員、その保護者のボランティア協働作業を行うことで、年齢を超えた地域結束を強め、協力する心を育てる

# 維持管理について

- ・ 保護者、地域住民を中心とした協働作業を中心とした維持管理チームによる散水、芝刈り等の実施
- ・ グランド管理 週1~2回 芝刈り、水遣り
- ・ 環境管理 月1回 グランド近辺の草刈等

# プロジェクトスケジュール

- 5月                   ポット苗作り
- 5月                   スプリンクラー設置工事
- 5月～6月           ポット苗植え込み
- 6月～8月           散水、肥料、芝刈り
- 9月                   冬芝オーバーシード

# グラウンド現況写真 2008.11

